



羽越本線いなほ14号脱線事故から17年

2005年12月25日19時14分頃、羽越本線特急「いなほ14号」が、北余目駅～砂越駅間を走行中、転覆限界風速を超える局所的な突風を受けたため脱線・横転し、5名のお客さまがお亡くなりになり、運転士及び車内販売員2名と31名のお客さまが負傷されました。事故によりお亡くなりになられた方々にお悔やみ申し上げますとともに、被害にあわれた方々にお見舞い申し上げます。



私たちに求められているのは、現場での判断力です。特に気象現象はマニュアルに頼れない部分が大きいです。自然災害はいつ発生するかわかりません。現場での状況と異なる指示を受けたときに立ち止まって考えることも大事です。現場の状況が分かっているからこそ自ら考え行動することも必要です。

利益優先・運行優先の企業体質では、危ないと思った時に列車を止めることができません。JR東日本ホームページのトップページからは羽越本線脱線事故に関する記述がなくなっていますが、私たちは痛ましい事故を風化させず、教訓化し日々の安全安定輸送を担っていきましょう。



安全な鉄道をつくり上げるため職場から議論をしていこう！